

ふるさと菜園事業 —つくばにあなたのふるさとを—

事業背景① 栄地区・谷田部地区のワーストと現状

- 栄地区・谷田部地区は美しい田園風景が印象的。自然も豊かで「ふるさと」を思わせる雰囲気がある。
- 両地域は新興住宅地から近いの利点である反面、近いがゆえに、わざわざ訪問しようとする非日常性(お出かけ気分)が得られない。
➡ 時間をかけて、付き合っこそわかる良さがある



事業背景② つくばの新住民の現状

- 外国人を含む、つくば市内の新住民の方々は「ふるさと」をはなれて暮らしている。
- つくばが好きだけど、なかなか地域と関わるきっかけがない。
- 環境や食への関心が高く、市民農園、農産物オーナー制度、直売所が人気。

事業案「ふるさと菜園」

新住民の方々と地元の農家さんが一緒に家庭菜園に取り組むことによって、日常的に家族で地域を訪れるきっかけを作る。地域にじっくりと関わり、好きになってもらい、「ふるさと」と思ってもらえるサービスを提供する。

「ふるさと菜園」の仕組み

想定する参加者

「野菜栽培はやってみたいけど、自分で管理する自信はない。でも収穫イベントじゃ物足りない」、「栽培や農家さんとの交流を通じて、子供に食と自然、伝統の大切さを伝えたい」、「つくばが好きで地域に関わりたいが、きっかけがない」



こんなところが魅力

農家さんと一緒なので、技術的に安心。月1~数回、農家さんと一緒に作業することで、野菜栽培と農家さんとの交流が楽しめる。新鮮な季節の野菜が手に入る。管理会社が実施する農業・地域理解イベントに参加できる。

参加者のご負担

契約料、生産資材実費、交通費、イベント実費

想定する協力農家さん



「自分のウチ用に野菜を栽培しているけど、つい作りすぎちゃうんだよね」、「自慢の野菜、もっといろいろな人に喜んで食べてもらいたい」、「教えてあげるの大好き」、「たまに若いヒトが来るとにぎやかでいいね」

こんなところが魅力

今までやっていた自家用の野菜畑から収入が得られる。作った野菜を喜んでもらえる。お客様とのマッチングや契約、お楽しみイベントは管理会社がやってくれるのでラクチン。

農家さんのご負担

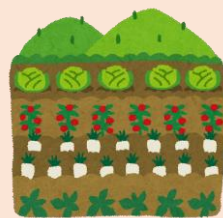
菜園の場の提供、菜園の管理、月1~数回のお客様との協働、農具の貸し出し

管理会社(国際耕種)の役割

お客様とのマッチングと調整役、農業・地域理解イベントの実施、参加料の回収と支払いを担います。参加者と農家さんがスムーズに取り組めるよう、細やかなサポートを提供します。

「ふるさと菜園」の特徴

- 地域の農家さんと一緒に取り組む家庭菜園です。
- 参加者は年間10組程度に限定し、細やかなサポートが行き届くように配慮します。
- つくば市に多い外国人家族も積極的に取り入れ、地域の異文化交流を進め、新たな地域文化をはぐくむきっかけを創造します。



プランの地域適応性

当案は、栄・谷田部地区の美しく豊かな田園都市風景と新興住宅街から近いという地域特性を生かした事業である。

プランの地域貢献性

当案は、新住民が日常的に当該地域を訪れることで、地域に新たな交流が生まれることに寄与する。地域に親しみを持つ家族が毎年増えていくことは、地道ながらも、地域の地力につながり、市街地の活性に寄与する。

プランの実現性

つくば市民は環境や食への関心が高く、家庭菜園には一定の需要があることが見込まれる。農家さんとのマッチングやイベントなどは、国際耕種のつくば在住の社員と地元協力者が協働委員会を設立し、運営にあたる。

プランの持続性

参加費の一部を運営資金とすることで、持続的な活動につなげる。活動が軌道に乗ったのちは、住民有志と国際耕種とでNPOを設立し、地元密着した運営を続ける。